そらぷちキッズキャンプ

solapuli kids' camp

ファミリーキャンプ 2019.7 見晴らしの丘にて
（東京八王子 NPO「地球冒険学校準備会」の協力により実施）

難病とたたかう子どものための
医療ケア付キャンプ場

in 北海道滝川市丸加高原

「そらぷちキッズキャンプ」とは

「外で遊びたい」―― それが夢だと言う子どもたちがいます。

日本には、小児がんや心臓病など、難病とたたかう子どもたちが、約20万人いると言われています。そんな子どもたちは、辛く長い闘病生活の中で「外で遊ぶ」という機会がほとんどありません。
「外で遊びたい」―― それが夢だと言う子どもたちがいるのです。

そして闘病中の子どもをサポートする家族にも「休息」や「リフレッシュ」が必要となっています。

小児病棟の病室

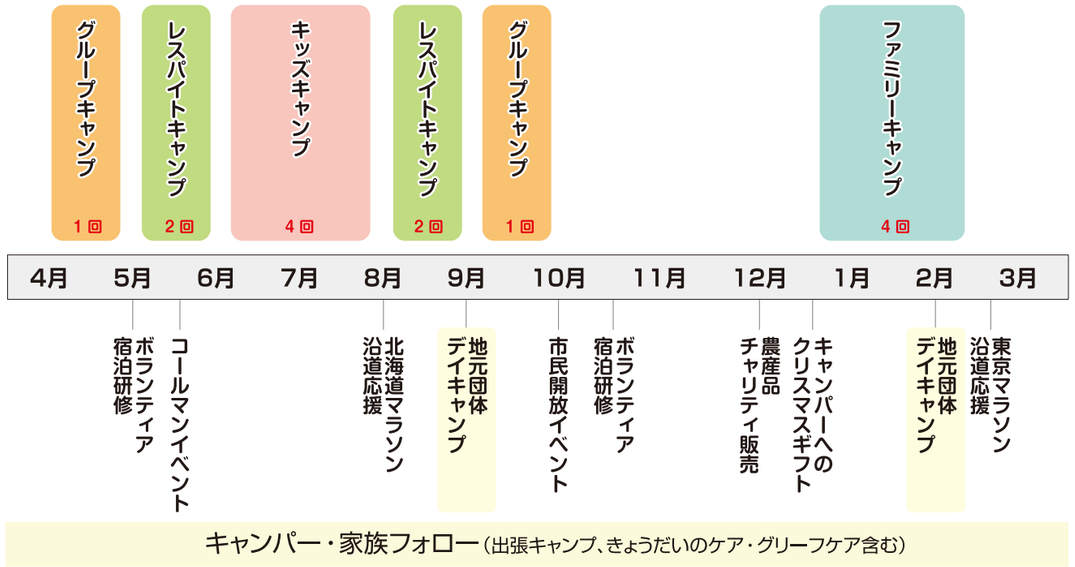
難病とたたかう子どもたちが自分の病気や治療のことを気にせず遊べるよう、特別に配慮された医療ケア付自然体験施設をつくりたい！

北海道滝川市丸加高原

そらぷちキッズキャンプは、難病とたたかう子どもたちや家族を受け入れることができる、医療ケア付キャンプ場を、北海道の大自然の中につくりました。

このような施設は、国内にはなく、すべて寄付やボランティアの力で運営しています。非日常体験であるキャンプに参加することが、闘病中の子どもや家族の「休息」になり、「明日を生きるエネルギー」になることを望んでいます。

キャンプ等実施計画（中期目標）



キャンプの種類について

こんなキャンプをしています！

キッズキャンプ（子どものみ参加）

・対象年齢：10 ～18 歳（小学校高学年から高校生）
・人数：20 名程度・期間：3 泊 4 日
・特徴：親元から離れ、同じ病気の仲間と集団生活し、自信をつける。
（見送る親は、リフレッシュ、きょうだいは、親との時間を持つ機会）
・実施時期：7 月、8 月（夏休みの期間）
・サポートスタッフ、ボランティア 40 名程度

ファミリーキャンプ（家族単位参加）

・人数：8 家族 24 名程度・期間：3 泊 4 日
・特徴：家族での旅行、キャンプの機会。同じ病気の子どもを持つ家族が交流し、孤独感を和らげる。仲間意識をつくる。
・実施時期：1 月、2 月（冬・雪のシーズン）
・サポートスタッフ、ボランティア 20 名程度

レスパイトキャンプ（個別家族参加）

・人数：2 家族 10 名程度（同行医療者含む）・期間：3 泊 4 日程度
・特徴：医療ケア度の高い子どもと家族が対象。日常の緊張感から解放された中で、家族が同じ時間・思い出をつくる。
・実施時期：6 月、9 月（過ごしやすい気温の時期）
・サポートスタッフ、ボランティア 20 名程度

グループキャンプ（団体参加）

・対象団体：難病の子どもの家族会、支援団体・期間：3 泊 4 日程度
・人数：8 家族 24 名程度＋同行者 10 名程度
・特徴：家族会・団体内の交流
・実施時期：5 月、10 月（夏季シーズン前後）
・サポートスタッフ、ボランティア 20 名程度

今後の展開について

これら以外にキャンプ場の特性を活かして、きょうだいや親のサポート、子どもを亡くした家族をサポートする取り組みも行っていきたいと考えています。

対象者について

そらぷちキッズキャンプは、「難病などの病気とたたかう子どもと家族」を対象とし、病種は限定せず、より医療ケア度の高い子ども、よりキャンプへのニーズが高い子どもを優先し、招待します。参加には専門の医療体制（専門の医師、看護師等の参画）の構築が不可欠となります。その体制が整った段階で新たな病種を対象にしたキャンプをスタートさせます。

キャンプ参加者について

これまでの参加者（参加者数、居住地、病種、感想など）

小児がん（白血病、脳腫瘍など）とたたかう子どもや、小児外科系疾患（二分脊椎症、短腸症候群など）をもつ子ども、その他、心疾患（心臓病）、神経・筋疾患などをもつ子どもたちが、キャンプに参加しています。

これまで 2005 ～ 2019 年度の 15 年間で、全国から 1090 名の難病とたたかう子どもと、その家族を無料で招待することができました。

参加者の感想

キャンプ中の子どもの様子。
現在はボランティアで活躍中。

子どもの感想

病気でも、キャンプに行けてみんなと遊べて楽しいこともあるんだ。

こんなに楽しいことがあったら、この先変わるんじゃないかなと思う。

家に帰っても、一週間くらいキャンプのことしゃべらなかった。もったいない気がして。

再発して、再入院して、いやだったけど、またそらぷち行けるのかなあ。

一人じゃないんだ仲間がいるんだと初めて感じることができた。

親の感想

こんなに楽しい日が来るとは、数年前には想像もしていなかった。これまで家族みんなで頑張ってきて良かった。

病児、きょうだい、両親、一緒に楽しめたので、家族同士のいろいろな表情を発見できた。あらためて「家族一緒」が一番楽しいと感じた。

普段の生活に制限がある中で大自然で過ごしたキャンプは羽ばたいたような気持ちだった。

私たち家族にとってこのキャンプ地は、新しい生活のスタートになった。

全国からそらぷちキッズキャンプへの移動について

そらぷちキッズキャンプは北海道にあり、ほとんどの参加者が飛行機に搭乗し移動するため、航空会社各社にサポートいただいています。事前の綿密な情報交換により、参加者の状態にあわせた、空港での誘導、休憩場所の確保、飛行機の乗り降りなど、快適に飛行機や空港を利用することができるよう、様々なサポートをいただいています。

空港にてサポート頂いた航空会社スタッフの方々と記念撮影

「そらぷちキッズキャンプ」の特徴

■ 事前説明会・家庭訪問

キャンプの募集を開始してから参加に至る間の情報交換を大切にしています。子どもだけが参加するキッズキャンプでは必ず事前説明会を開催、家族単位で参加するキャンプでも、状況によって個別の家庭訪問を実施しています。情報交換はキャンプ場に常駐する看護師が行います。

■ キャンププログラム

子どもたちや家族の状態･ニーズにあわせて、様々なアクティビティを準備しています。北海道の大自然を活かした、自然とふれあう、仲間と楽しむ、自分にチャレンジする、様々なプログラムを提供します。専門資格をもつスタッフが準備・実施する乗馬・馬車搭乗、森あそび（ツリーハウス）などのプログラムがあります。

■ ボランティア

キャンプには、事前に研修を受けたボランティアが参加しています。大学生や主婦、キャンプの専門家、栄養士、医師や看護師など様々な人たちが、子どもたちの「力になりたい」と集まっています。ボランティアとの交流もキャンプの魅力の1つです。キャンパーからボランティアになった若者もいます。

■ 食事

北海道の旬の食材を使った、子どもたちが選べる食事、子どもたちと一緒につくる食事など、「食事」はキャンプの楽しみのひとつになっています。専門のスタッフが常駐し、食物アレルギーや食事制限、ニーズに合う食事形態（きざみ、ペースト）などにも対応した食事メニューを提供することができます。

■ 医療支援

キャンプ中は、専門の医師、看護師が常駐し、キャンプでも日常の医療ケアが継続できるようにサポートします。「ほけんしつ」と呼んでいる専用の建物もあり、集団から離れての休息や、特別な処置が必要になった場合にも使います。また滝川市立病院、砂川市立病院と連携し、緊急時対応ができる体制を整えています。

■ 施設・設備

キャンプ場内の施設・設備は、訪れる子どもたちのことを考え、バリアフリー･ユニバーサルデザインの視点で、設計･整備されています。今後も、子どもたちの意見を聞いて改善し、使いやすい施設にしていきたいと考えています。森の中には、車いすのままで行けるツリーハウス（木の上の家）もあります。

キャンプサイト・施設の紹介

そらぷちキッズキャンプは、大空と豊かな自然に囲まれた北海道滝川市丸加高原にあります。丸加高原は標高２８６メートルの丸加山のすそ野に広がる丘陵地で、キャンプ場は約16ヘクタールの草地と森です。宿泊棟、食堂・浴室棟等の施設群があり、敷地の2/3を占める森には、ツリーハウスや散策路など自然を満喫できるよう整備されています。

施設の建設にあたり、法人・個人・団体からご支援をいただきました。

2009 年に「事務棟（森の案内所）」が建設され、2010 年には「森のほけんしつ（医療棟）」、2012 年には「食堂＆浴室棟」と「宿泊棟」など主要施設群が完成しました。森エリアには市民ボランティアや民間企業などの協力によりツリーハウスや木道などが整備され、今後もバリアフリー木道や遊びの仕掛けなどをつくる予定です。

summer

わくわく原っぱ

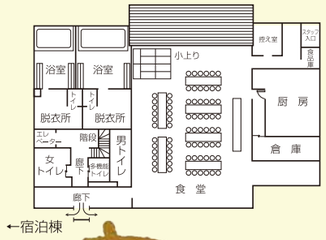
うまの家・うまの広場

きつつきの森

winter

ほたるの森

広場周辺



②食堂&浴室棟（森の食堂・そらともりのお風呂）

650㎡

食堂ホール、厨房、大浴場

【食　堂】100 人が集える食堂ホールです。食事時間以外は、室内遊び場としても利用します。
【大浴場】森と空をテーマにした2つの浴場があります。キャンプの仲間と一緒に入ることができます。

協力：民間寄付金等

③森のほけんしつ

180㎡

診察・処置スペース　静養室（ベッドルーム）

医療者が常駐し、キャンプ中は医療ケアや服薬の際に使います。体調が悪くなったら、診察・静養することもできます。

協力：故・横山清七初代会長親族、北門信用金庫、日本チェーンドラッグストア協会、滝川市医師会 ほか

①宿泊棟（星のコテージ・月のコテージ）

寝室（２段ベッド）、リビング、浴室　240㎡ × ２棟

36人が泊まれるコテージです。寝室には木の2段ベッドがあり、1 段目は車いすユーザーが使いやすい高さに設定されています。中央にある和室（畳の小上がり）で寝転んだり、リビングでゲームをしながら遊ぶことができます。

そらぷちの森（森全体及び基盤整備）・事務棟（森の案内所）については、高原基金の森（故・高原慶一朗氏）の協力をいただきました。

協力：公益財団法人日本財団（宿泊棟1）、一般財団法人日本メイスン財団（宿泊棟2）

④ツリーハウス

木の上にある家

10人程度収容可能

クリエイターの小林崇さんと協働で製作した、4本の大きな木に支えられたツリーハウスです。車いすのままで利用でき、森とひとつになった感覚になります。

協力：一般財団法人東京マラソン財団、公益財団法人太陽財団 ほか

2019 年度　事業概要（報告）

2019 年度は、計 9 回のキャンプ（夏季 7 回、冬季 2 回）を実施し、難病とたたかう子どもと家族に対し、かけがえのない時間を提供することができました。安全で快適なキャンプを実施できるよう専用施設の運営・維持管理を行いました。

■ 難病の子どもと家族が参加するキャンプの実施

全国各地から以下のキャンプに合計 240 名が参加。

5/11 ～ 5/12　グループキャンプ　1 泊 2 日

医療法人稲生会（札幌）の利用者と家族　4 家族 16 名

5/31 ～ 6/3　レスパイトキャンプ　3 泊 4 日

重い病気や障がいをもつ子どもと家族　4 家族 16 名
（居住地域：千葉 1、埼玉 2、東京 1 家族
聖路加国際病院、国立がん研究センター中央病院から各 1 名の主治医同行）

7/12 ～ 7/15　レスパイトキャンプ　3 泊 4 日

重い病気や障がいをもつ子どもと家族　3 家族 12 名
（居住地域：栃木 3 家族
栃木のレスパイト施設「うりずん」の協力により実施、
同行医療スタッフ 4 名）

7/26 ～ 7/29　ファミリーキャンプ　3 泊 4 日

重い病気や障がいをもつ子どもと家族　5 家族 14 名
（居住地域：東京　5 家族
東京八王子 NPO「地球冒険学校準備会」の協力により
実施、同行スタッフ 6 名）

8/5 ～ 8/8　キッズキャンプ　3 泊 4 日

心臓疾患を持つ子ども 8 名
（居住地域：茨城 7 名・千葉 1 名
筑波大学附属病院心臓血管外科と共同開催、
試行実施のため 10 名の医療者同行）

9/6 ～ 9/9　レスパイトキャンプ　3 泊 4 日

日常的に医療ケアが必要な子どもと家族　1 家族 7 名
（居住地域：東京　1 家族
国立国際医療研究センターから 4 名の医療スタッフ同行）

9/28・9/29　グループキャンプ　日帰り（2 日間）

滝川市こども発達支援センター利用の子どもと家族
23 家族 78 名（居住地域：滝川市内及び近隣市町村）

1/25・1/26　グループキャンプ　日帰り（2 日間）

滝川市こども発達支援センターを利用の子どもと家族
20 家族 70 名（居住地域：滝川市内及び近隣市町村）

1/31 ～ 2/3　ファミリーキャンプ　3 泊 4 日

小児がんとたたかう子どもと家族　4 家族 19 名
（居住地域：広島 1、東京 3 家族
東京医科歯科大学医学部付属病院より 1 名の主治医同行）

■ ボランティア募集育成・活動調整

「ボランティア研修キャンプ（1 泊 2 日）の実施」

・11/2 ～ 3　研修参加者 27 名
・3/28 ～ 29　COVID-19 感染拡大防止のため中止

「各種ボランティアの活動調整」

・キャンプボランティア
・屋外維持管理ボランティア
・イベント(広報PR)ボランティア
・人形制作ボランティア
・馬ボランティア
　他

ボランティア研修キャンプ

■ 広報（普及啓発）事業

・キャンプ場でのイベント開催
　10/14 そらぷちフェスティバル
　（チャリティトークショー・感謝状贈呈式他）

そらぷちフェスティバル

・各種イベントでの PR ブース設置
　8/25 北海道マラソン、
　9/7 ～ 8 サツドラフェス、
　9/28 朴の会コンサート
・写真展の開催（6 月山梨、10 月札幌、1 月東京）
・遊び広場イベントの開催（12 月札幌）

サツドラフェス

遊び広場イベント

■ 調査研究（学会参加他）

・4/19 ～ 21　日本小児科学会（金沢）
・9/20 ～ 21　日本重症心身障害学会（岡山）
・11/14 ～ 16　日本小児血液・がん学会（広島）　他

そらぷちキッズキャンプ・フォトギャラリー2019

撮影：小西貴士（ゴリ）
高橋吉之（よっち）
村井友樹（むっくん）

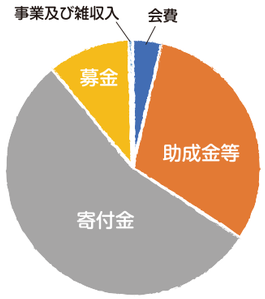
2019 年度　決算報告および寄付者 / 会員状況

会計報告

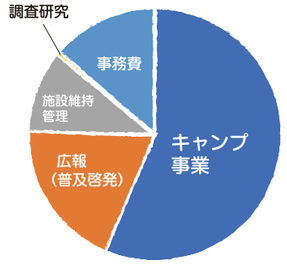
【収　入】	**収入合計**	**189,746,189 円**
	会費　そらぷち会員数　274 人	6,978,000 円
	助成金等	58,066,048 円
	寄付金　一般寄付者数　2415 人	104,105,600 円
	募金	19,742,930 円
	事業及び雑収入	853,611 円

【支　出】	**支出合計**	**178,775,807 円**
	キャンプ事業	100,970,489 円
	広報（普及啓発）	34,044,615 円
	施設維持管理	18,728,809 円
	調査研究	863,215 円
	事務費	24,168,679 円

【収支内訳】



収　入



支　出

寄付支援いただいた企業・団体

- SeriousFun Children's Network（シリアスファン）
- 日本チェーンドラッグストア協会
- 一般財団法人 東京マラソン財団
- The Boeing Company（ボーイング）
- Abercrombie & Fitch（アバクロ）
- 大原小児がん基金
- ウエルシア薬局 株式会社
- 公益財団法人 日本財団
- コールマンジャパン 株式会社 ★
- サツドラホールディングス 株式会社
- 株式会社 クスリのマルエ
- 北門信用金庫
- 株式会社 マツモトキヨシホールディングス
- 一般社団法人 TUコモンズ夢のアトリエ
- ユニバーサル・ビジネス・ソリューションズ 株式会社
- 日本コカ・コーラ 株式会社
- Krispy Kreme Doughnuts（クリスピークリームドーナツ）
- 株式会社 日本財託 ★
- 株式会社 堅城

（円）
- 1000 万～
- 500 万～
- 300 万～
- 100 万～

★ 賛助会員

株式会社 ダッドウェイ
北海道コカ・コーラボトリング 株式会社
株式会社 シンモク ★
株式会社 かいと ★
小林製薬 株式会社 ★
株式会社 フジテレビジョン ★
認定NPO法人 ランナーズサポート北海道（北海道マラソンチャリティ）
NPO 法人 地球冒険学校準備会
公益財団法人 毎日新聞東京社会事業団
株式会社 ツール・ド・メディケーション
筑波大学
クラシエグループ
株式会社 マツオ
札幌インナーホイールクラブ
空知単板工業 株式会社（チャリティー 100 ㎞ウォーク）
小樽友の会
サントリービバレッジサービス 株式会社
株式会社 丸大サクラヰ薬局
滝川ロータリークラブ
山崎製パン 株式会社 札幌工場
DCM ホーマック 株式会社 ★
株式会社 フジファシリティー ★
NPO 法人 北海道ファミリーハウス ★
一心寺 ★
西武造園 株式会社 ★
一般社団法人 MDRT 日本会
株式会社 グレシステム
株式会社 朝日新聞各務原販売
江部乙商工会（そらぷちファーマーズ協働・農産品チャリティ）
東京エレクトロン 株式会社
シミズ薬品 株式会社
株式会社 北星
株式会社 CtoC グループ
オカリナ工房 北の銀河
株式会社 AIRDO
株式会社 Take-O
有限会社 酒倶楽部かねよし
医療法人 圭仁会 佐藤病院
サッポロビール 株式会社
ポッカサッポロ北海道 株式会社
しののめ信用金庫
株式会社 トヨナガ
認定 NPO 法人 朴の会
ロート製薬 株式会社
有限会社 永友商事
大原薬品工業 株式会社 役員・従業員一同
MDRT 三井住友海上あいおい会
ライオンズクラブ国際協会 332-B 地区 2R1Z
株式会社ワッズ（株式会社ビクトリア観光とのチャリティ）
国際ソロプチミスト滝川
有限会社 新田総業
一般社団法人 滝川市医師会
NPO 法人 筑波大学心臓血管外科育成研究会
立教小学校
公益財団法人 江東モラロジー事務所 子育て支援 たんぽぽ
金北会
目黒星美学園小学校 教職員一同
網走友の会
イオン滝川店
NPO 法人 レスパイト・ケアサービス萌
原田内科小児科医院
聖路加国際病院礼拝堂
滝川三師会
北海道ベンディング 株式会社
株式会社 つちだ
北翔大学 杉岡ゼミ
カヤギニまつり実行委員会
こまどり児童会
有限会社 ユウセイ機工
有限会社 花月堂松尾製菓
北見友の会
北海道滝川高等学校 定時制課程生徒会
滝川市立江部乙小学校
医療法人社団 久保会 久保会医院
税理士法人 エルムパートナーズ
マルコ・ソルディ・ラップレセンタンツェ合同会社
むつみ造園土木 株式会社
丸山健法律事務所
株式会社 菜の花総合保険事務所
三石ロータリークラブ
大黒屋菓子舗
徳生寺
美容室 花菜里
堀田鍼灸整骨院
妹背牛ロータリークラブ
甘楽幼稚園
有限会社 ウンノ
聖路加国際病院小児科 親の会リンクス
NPO 法人 寧楽共働学舎
弁護士法人 のぞみ法律事務所
グッディポイント 株式会社
滝川市立第一小学校
有限会社 ブティック鈴屋
有限会社 藤井薬局

（敬称略）
このほか、多くの企業・団体にご支援をいただきました。

SeriousFun Children's Network（シリアスファンチルドレンズネットワーク）のフルメンバー（正会員）として加盟しています。

シリアスファンは、ハリウッド俳優、故・ポールニューマン氏が米国に創設した、難病の子どもと家族のための医療ケア付キャンプの世界的なネットワークであり、そらぷちは、アジア（中東を除く）初の公認キャンプ場となります。シリアスファンでは、定期的な現地審査と書類審査により、世界基準の安全性とサービスの質の認定を行っており、そらぷちは、2016 年 11 月より正会員として加盟しています。

キャンパーたちと故・ポールニューマン氏（中央）

solaputi kids' camp
a seriousfun camp
founded by paul newman

シリアスファン加盟により、新しいロゴになりました

「シリアスファン公認キャンプ場・所在地（16カ所）」

米国フロリダ、米国ニューヨーク、米国オハイオ、
米国コネチカット、米国ワシントン、米国ミシガン、
米国カリフォルニア、米国コロラド、米国ノースカロライナ

アイルランド、ハンガリー、
イタリア、イスラエル、
フランス、イギリス、日本（そらぷち）

フルメンバー、プロビジョナルメンバー（専用建物を持つキャンプ）
グローバル・パートナーシッププログラム（建物を持たずプログラムを行うキャンプ）

シリアスファンとして、アメリカ（米国）、ヨーロッパ、アジア、アフリカなど世界中で、16 カ所の公認キャンプ場の運営と多数のキャンププログラムの提供を行っており、これまで 50 以上の国々から 70 万人を超える、難病の子どもと家族を無料でキャンプに招待しています。

ご支援のお願い

難病とたたかう子どもと家族のための医療ケア付自然体験施設「そらぷちキッズキャンプ」の活動は、多くの皆様からの資金的支援（会費、寄付、物品）と人的支援（ボランティア）によって、支えられています。
ご支援をよろしくお願いします。

方法1 寄付金をご提供いただく方法

いつでもいくらからでも受け付けております。お振込み口座は以下です。

金融機関名	店番	口座名	種目	口座記号・番号
ゆうちょ銀行	279	公益財団法人そらぷちキッズキャンプ	当座	02770-6-045696

※他銀行からゆうちょ銀行へ振り込む場合は、（）内の２項目が必要となります。（店名：二七九（ニナナキユウ）　口座番号：0045696）
※その他口座については、下記までお問い合わせください。

クレジットカード決済によるご入金もできます。

ＨＰより１口１,０００円からご入金いただけます。決済システムは、日本財団との協働プロジェクト事業として特定非営利活動法人 CANPAN センターが提供している､CANPAN 決済サービスを利用してクレジットカードを使ったオンラインでの入金ができます。

http://kessai.canpan.info/org/solaputi/

方法2 会員として継続的にご支援いただく方法

継続的にご支援をいただける方は、年会費によるご支援をお願いします。
会員登録された方には、活動をお知らせするニュースレター等を郵送いたします。

応援会員（個人・団体）	一般　1口2千円	特別　1口1万円
賛助会員（企業・法人）	一般　1口20万円	特別 1口50万円

※会員期間は、入会日から入会年度の 3/31 まで。お振込みは上記口座。
※上記クレジットカード決済による入金もできます。自動継続も可能です。

方法3 物品をご寄贈いただく方法

キャンプに必要となる物品を「ウィッシュリスト」として整理・随時更新しています。
詳しくは、下記キャンプ場までお問い合わせください。

方法4 ボランティア登録をしてご支援いただく方法

ホームページからボランティア登録をいただくと、下記種類のボランティア活動について適時お声掛けいたします。まずはご登録をお願いします。

○キャンプのためのボランティア（18 歳以上。事前研修必須。）
○そらぷちの森の維持管理のためのボランティア
○キャンプ場の掃除や布団などセットするボランティア
○イベントや学会等での PR ブース運営のボランティア
○子どもにプレゼントする人形の製作ボランティア
○資料発送などの事務ボランティア　等

ほか その他の方法として

店頭募金箱設置や広報 PR 支援（講演依頼他）など、いろいろな方法があります。
詳しくは、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ

公益財団法人 そらぷちキッズキャンプ

solaputi kids' camp
a seriousfun camp
founded by paul newman

〒079-0461
北海道滝川市江部乙町丸加高原 4264-1
TEL:0125-75-3200　FAX:0125-75-3211
HP：http://www.solaputi.jp　e-mail：info@solaputi.jp

Copyright © solaputi kids' camp. All Rights Reserved.